

新潟大学脳研究所病理学分野で病理解剖を受けられた 患者様のご家族の皆様へ

東京大学大学院医学系研究科神経病理学分野では、新潟大学脳研究所病理学分野より匿名化されたアルツハイマー病、進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、Pick 病の脳組織の提供を受けて、これらの疾患において蓄積しているタウタンパク質の形成や神経変性のメカニズムを解明する研究を実施しております。この研究の対象者に該当する可能性がある方で、研究への協力をご希望されない、あるいは協力を途中でおやめになりたい場合、2026年3月31日までに末尾に記載の問い合わせ先までご連絡ください。

【研究課題】タウオパチー患者脳におけるタウ蓄積、神経変性機序に関する研究
(審査番号 2022093NI)

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学大学院医学系研究科・神経病理学分野
研究責任者 山田 薫・東京大学医学部附属病院・認知症共生社会創成治療学・
特任准教授
担当業務 データの解析と取り纏め

【共同研究機関】

研究機関 新潟大学 脳研究所病理学分野
研究代表者 他田 真理・教授
機関の長 柿田 明美・教授
担当業務 疾患脳の病理解析

この研究に利用する試料・情報は共同研究機関の範囲のみで利用されます。

【研究期間】

承認日～2027年3月31日

【対象となる方】

2001年1月1日～2021年12月31日の間に新潟大学脳研究所にて病理解剖をされた患者様のご家族の皆様。

【研究目的・意義】

アルツハイマー病、進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、Pick 病などの神経変性疾患では、タウタンパク質が凝集して、神経細胞内に異常蓄積し、これが原因となって神経細胞死が生じることからタウオパチーと総称されています。しかしながら、タウオパチーにおいて、タウの異常蓄積が生じるメカニズム、及びタウによる神経細胞死が生じるメカニズムは明らかになっていません。タウオパチー脳に存在するタウには多様性が存在し、様々な分子状態で存在していることが知られています。そこで本研究では、タウオパチー患者脳より、タウの異常蓄積や、神経変性につながるタ

ウ分子種を分離、単離し、その性状解析を進めることを目的として進めます。

【研究の方法】

新潟大学脳研究所において、アルツハイマー病、進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、Pick 病と診断された剖検脳および対照脳から、それぞれ 6 例を選び、凍結脳の一部及びパラフィン包埋脳組織切片を東京大学大学院医学系研究科・神経病理学分野に輸送し、厳重に保管します。

東京大学大学院医学系研究科・神経病理学分野では、疾患脳からタウを含む脳抽出物を取得し、培養細胞やモデルマウスに投与し、遺伝子やタンパク質に生じる変化を解析します。また免疫染色によってパラフィン包埋脳組織切片を解析し、タンパク質の変化を調べます。提供いただいた試料・情報は、共同研究機関である新潟大学脳研究所と共有し、解析を行います。研究対象者の皆さんのお名前等が、他機関に伝わることはありません。なお、研究計画書や研究の方法に関する資料を入手・閲覧して、研究内容を詳しくお知りになりたい場合は、末尾の連絡先にお問い合わせください。他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲でご提供させていただきます。

【個人情報の保護】

この研究に関わって取得される試料や資料・情報等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

取得した脳試料やデータは、東京大学大学院医学系研究科・神経病理学分野に送られ解析・保存されますが、送付前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにします。どなたのものか分からないように加工した上で、東京大学大学院医学系研究科・神経病理学分野の鍵のかかる超低温フリーザーで厳重に保管します。ただし、必要な場合には、新潟大学脳研究所においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行うこともできます。

この研究のためにご家族の試料を使用してほしい場合は、下記の問い合わせ先に 2027 年 3 月 31 日までにご連絡ください。研究に参加いただけない場合でも、将来にわたって不利益が生じることはありません。

ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究の成果は、あなたの氏名等の個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌、国内のデータベース等で公表します。

取得した脳試料は厳重な管理のもと、研究終了後最大5年間保存されます。保管期間終了後には、オートクレーブすることで廃棄します。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。

尚、提供いただいた試料・情報の管理の責任者は下記の通りです。

試料・情報の管理責任者

所属：東京大学医学部附属病院・認知症共生社会創成治療学

氏名： 山田 薫

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。

この研究に関する費用は、東京大学大学院医学系研究科・神経病理学分野における、日本医療研究開発機構「認知症研究開発事業」から支出されています。また研究責任者である山田薫は、エフィッシモ・キャピタル・マネジメントPte Ltd社との寄附講座に所属しています。

本課題の研究責任者・研究分担者の利益相反は、東京大学医学部利益相反アドバイザー機関に報告し、利益相反マネジメントを適正に行っております。尚、あなたへの謝金はございません。

この研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

2022年7月

【連絡・お問い合わせ先】

研究責任者：山田 薫

連絡担当者：山田 薫

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学医学部附属病院・認知症共生社会創成治療学

電話：03-5841-3533（内線 23533） FAX：03-5841-3613

e-mail：[yamadaka アット m.u-tokyo.ac.jp](mailto:yamadaka@m.u-tokyo.ac.jp)

アットを@に置換ください